

令和3年度 横須賀西部水産振興事業団

事業報告書

1 事業の概要

1. 事業に関する事項

市民の共有財産である相模湾沿岸の海岸が広く市民に親しまれる憩いの場となるよう積極的に海岸環境の保全等に取り組むと共に漁業生産の場として広く活用されている相模湾沿岸の水産業の振興に寄与するため事業計画に基づき実施した。

各事業の実施状況は次のとおりである。

(1) 環境保全事業（定款・第4条・第1項・第1号関係）

① 海岸清掃のボランティア活動の推進

例年協賛している「荒崎海岸クリーンフェスタ（初夏・秋）」及び「富浦公園前海浜清掃活動」はコロナウイルス禍のため中止になった。

② 海浜の清掃活動費の援助

「令和3年度水産振興事業助成金」を長井町漁協と横須賀市大楠漁協に交付した。

第2回理事会において、「令和3年度水産振興事業助成金」の交付について決議した。横須賀市の相模湾沿岸海域における良好な海岸環境の保全のため、海岸清掃活動費に対して助成金を交付する。

（履行期間）令和3年9月1日～令和4年2月28日

（交付金額）各漁協 600,000円

（業務内容）海岸の一斉清掃活動を通じて、海洋汚染物等の収集、運搬、処理を行い、快適な海岸環境の保全に努めた。

③ 西地区町内会・自治会へごみ袋（45ℓ）配布

当事業団事業として海岸清掃があるが、海岸ごみの70%は陸上のごみが水路や川を通して集まることから街のごみ清掃にも支援することとし大楠地区クリーンよこすか活動にごみ袋（45ℓ）と軍手を配布した。

(2) 調査研究・保護培養事業（定款・第4条・第1項・第2号関係）

① 調査研究

ア.「令和3年度小田和湾藻場分布変化図作成業務」をアジア航測(株)と契約した。

(履行期間) 令和4年1月21日～令和4年3月25日

(契約金額) 495,000円

(業務内容) 平成29年度調査で作成した藻場分布図を更新する

- ① 衛星画像収集 令和元年度以降に撮影された高解像度衛星画像(Geo-Eye等)を検索し購入する。
- ② 現地調査 前回調査で実施した7地点の水中写真を取得する。
令和3年度藻場定置枠調査の結果や垂下式水中カメラにより撮影する。
- ③ 藻場分布図作成 前回同様「アマモ場」と「岩礁性藻場」の面積算出
- ④ 成果 調査結果をA1判縦図にする(5部作成)

イ.「令和3年度 藻場の保全に関する調査業務委託」を長井町漁協と横須賀市大楠漁協と契約をした。

(履行期間) 令和3年7月15日～令和4年3月25日

(契約金額) 各漁協 250,000円

(業務内容) 調査区域の漁場(各25ha)の磯焼けの状況についてモニタリング等を実施した。

ウ.「令和3年度水産物の調査・研究事業助成金」を長井町漁協と横須賀市大楠漁協に交付した。

第2回理事会において、「令和3年度水産物の調査・研究事業助成金」の交付について決議した。横須賀市の相模湾沿岸の水産振興及び経営の安定に資するため、水産物の調査・研究を行う者に対して助成金を交付する。

(履行期間) 令和3年9月1日～令和4年3月25日

(交付金額) 各漁協 250,000円

(履行内容) 長井町漁協は、平成29年度からワカメ養殖を安定的に行うため、アイゴ対策として耐久性のある網を作成し張ることで、成果があり収穫量が増加した。3年度は網の構造を改良し、アイゴの侵入防止を向上させた。

横須賀市大楠漁協は、2年度からナマコ類育成を中心とし、漁業者が種苗を購入し、一定海域(漁場)に放流して調査した。新たな漁業振興につなげていくために調査研究を行う。

エ. アサリ調査について

令和3年度小田和湾藻場保全調査の中で横須賀市に協力して、作業に参加した。長井のアサリ調査作業に計8回参加した。

5/25、6/24、7/20、8/20、9/21、12/16、2/24、3/17

② 放流事業

No.	実施日	種類	放流数	放流場所	購入先
1	6／1	トラフグ	10,000 尾	斉田浜沖及び葉山港沖	県栽培漁業協会 (サザエ) 県水産技術センター
2	6／29	ヒラメ	8,500 尾	井尻港岸壁及び斉田浜沖	
3	7／21	マダイ	8,000 尾	佐島漁港内	
4	7／29	カサゴ	4,000 尾	長井漁港内	
5	10／12	サザエ	6,000 個	小田和湾内（長井）	
6	10／26	サザエ	6,000 個		
7	12／2	アワビ	1,000 個	小田和湾内（大楠）	
8	2／1	アワビ	1,500 個		

(3) 研修事業（定款・第4条-第1項-第4号関係）

- ① 当事業団理事と漁協関係者を対象に水中ドローンの操作体験と長井漁港地先の藻場の現状（磯焼け）について研修をした。

日時 令和3年12月7日（火）9時30分～12時

内容 長井魚市場岸壁にて、水中ドローンの操作を慶応義塾大学 SFC 研究所所員の指導により体験した。また、今後の漁業での活用方法について意見交換をした。

藻場の現状（磯焼け）を DVD にて視聴し、学術経験者からレクチャーを受けた。

(4) 広報事業（定款・第4条-第1項-第5号関係）

- ① 広報紙作成事業

当事業団の事業活動状況や地域の水産関連等の情報を提供し、水産振興について幅広く市民に理解を深めてもらうため、広報紙「西部水産振興だより(第47号)」を9月に、第48号を3月に作成し配布した。

- ・発行部数 47号 2,500部、48号 2,200部（無料配布）
- ・テーマ（1面記事）
 - 47号 海岸のごみをなくす活動は海の環境を守ること。
 - 48号 神奈川県立海洋科学高校 ～地元水産業との取組み～
- ・配布先 地元大楠、長井、武山地区の44町内会と自治会、各学校、各自治体、関係団体、他の水産振興事業団ほか

（５）経営安定事業（定款・第４条-第１項-第３号関係）

① 漁業経営資金等助成事業

第２回理事会において「令和３年度経営安定事業に係る漁業経営資金等助成金」の交付について決議した。横須賀市の相模湾沿岸海域における漁業生産力の向上と水産物の安定供給に寄与するため、漁業協同組合の経営基盤の強化と漁業経営の安定化を図るために融資を受けたものに対してその返済のため助成金の交付を行った。

- 長井町漁業協同組合 助成額：3,000,000円（7月9日支出）
- 横須賀市大楠漁業協同組合 助成額：3,000,000円（7月8日支出）